

## 総裁記者会見要旨 (11月7日)

G20 終了後の野田副大臣・白川総裁 共同記者会見における総裁発言要旨

---

2009 年 11 月 8 日

日本銀行

於・スコットランド

2009 年 11 月 7 日(土)

午後5時から約30分間(現地時間)

### 【冒頭発言】

今回のG20では、金融市場の改善が続き、世界経済も大きく落ち込んだ後持ち直してきてはいるものの、先行きについては平坦ではなく、引き続き注意を要する情勢にあるとの認識を共有しました。その上で、回復が確かなものとなるまで、各国が引き続き必要な政策対応をしっかりと行っていくことを改めて確認しました。

私からは、金融政策運営について、極めて緩和的な金融環境を継続し、わが国経済が物価安定のもとでの持続的成長経路に復帰していくことを粘り強く支援していく考えであること、昨年秋以降に導入した各種時限措置については、金融市場の改善度合いに即応して、所要の見直しを行ったこと、を説明しました。

また、相互評価の枠組みについても、これが建設的でオープンな意見交換をしていくために重要と考える点を中心に意見を述べました。

【問】 IMF が出口戦略についての報告書を纏めて G20 に示したと思います。この中で示された7つの原則のひとつには、非伝統的政策の出口と言うのは必ずしも伝統的政策の出口でなくとも良い旨が書かれていますが、これについて日銀の考え方を教えてください。

【答】 この出口戦略に関する報告書は、あくまでも IMF が作成したものであり、今回の G20 の場でこの報告書自体を議論するということはありませんでした。その上で、IMF の報告書についてのご質問ということでお答えしますと、これはまず非伝統的政策から出て、それから伝統

的政策を抜け出て行くという順番では必ずしもない、ということを言っているだけに過ぎません。逆に、まず伝統的政策から抜け出て、それから非伝統的政策を抜け出て行く、という順番を言っているわけでもありません。それぞれの国の状況によって、政策の出口戦略にはいろいろな順番がありうる、ということであり、その程度の話と受け止めました。

以 上